

# 春のうららの隅田川

東京十勝池田会 陶久清



隅田川堤が満開の桜で彩られた4月5日、セレブでクールな人達約70名が豪華クルーザーをチャーターしお花見船上パーティを楽しんだ。

東京十勝池田会が主催で今回は3回目。東京本別会（新津悦男会長）との合同開催であった。

こうした多人数参加のイベントは池田会単独では難しく、参加人数の確保、参加料金を格安にするためのスポンサー企業探し、お土産の用意等、相互に役割分担を決め催行に漕ぎつけた。

このお花見クルーズのテーマは「十勝ワインで乾杯！」であるから十勝ワイン他、全てのお酒が飲み放題！そして十勝ワインにびったりミート（肉）の「いけだ（高級和）牛」のステーキも含め船上パーベキュウ料理が食べ放題！



前田茂雄社長（本別町在住）には、「十勝農業のこれから」について熱く語って頂いた。また、同社新商品「十勝ポップコーン」の宣伝も兼ねてお土産として商品提供して頂いた。そそり立つスカイツリーを背にクルーザーは帰路へと方向転換。ここからは船上コーラスタイムとなり懐かしの唱歌が続く。最後は池田会顧問・大野重勇さんの社会奉仕活動から生まれたフォークソング「今日の日はさようなら」を皆で合唱。チャーターしたマルコポーロ号（定員125名）は無事、勝どき桟橋に戻った。

## 東京なよろ会の活動

東京なよろ会 事務局長 藤原一也



2016年の東京なよろ会ふるさと訪問ツアーは7月8日〜11日にゴルフ三昧とふるさと名寄市の周辺観光を組み合わせて実施しました。この企画には関東地方の会員44名が北海道名寄市を訪れました。7月10日には名寄市民の方々26名と総勢70人で「市民交流会」を行いました。雨模様のためヨローナ施設の屋内で煮込みジンギスカンやつきたて餅（写真）を味わい、参加者全員で記念撮影会を行いました。

東京なよろ会の主な活動は、ふるさと名寄訪問企画の初夏の白樺ゴルフツアー、冬のピヤ

これで女性の参加料は7000円。大勢の女性参加者があり華やかな雰囲気船上パーティとなった。

今回のスポンサー企業・(有)太陽ファーム前田茂雄社長（本別町在住）には、「十勝農業のこれから」について熱く語って頂いた。また、同社新商品「十勝ポップコーン」の宣伝も兼ねてお土産として商品提供して頂いた。

そそり立つスカイツリーを背にクルーザーは帰路へと方向転換。ここからは船上コーラスタイムとなり懐かしの唱歌が続く。最後は池田会顧問・大野重勇さんの社会奉仕活動から生まれたフォークソング「今日の日はさようなら」を皆で合唱。チャーターしたマルコポーロ号（定員125名）は無事、勝どき桟橋に戻った。

2016年の東京なよろ会ふるさと訪問ツアーは7月8日〜11日にゴルフ三昧とふるさと名寄市の周辺観光を組み合わせて実施しました。この企画には関東地方の会員44名が北海道名寄市を訪れました。7月10日には名寄市民の方々26名と総勢70人で「市民交流会」を行いました。雨模様のためヨローナ施設の屋内で煮込みジンギスカンやつきたて餅（写真）を味わい、参加者全員で記念撮影会を行いました。

ふるさと名寄市関係者が、首都圏への紹介事業として、名寄市特産品販売（初夏のアスパラまつり、秋のとうもろこしまつり）

## 昨年入会した『東京浦白会』です

東京浦白会 事務局 後藤史朗



我々のふる里は浦白町（美唄市北西の石狩川対岸に位置している）ですが、知名度が低いために「ウラウスの出身です」と言っても、「ウラスですか、海があつて良い所ですね」と返されること

が多く、「浦白は坂本龍馬の一族が移住した」、北海道メロン発祥の地」とアピールするのですがインパクトがあまりない。最近では、日本で最も生産量の多いワイン用ブドウ畑、赤和牛の神内ファーム、佐藤博奇贈の絵画コレクション、昨年の一人あたりのふるさと納税額が日本一？（人口2000人に対して3.5億円）などが加わっています。数年前には、民放テレビで「人口一人あたりの納税額が日本一の自治体」と紹介された事もあります。また、高台には4つのチャシ跡が確認され、江戸時代初期のアイス指導者ハウカセの根拠地として有力視されています。



浦白は小さな町ですが、関東を杉並区の区役所前で実施しています。こちらに東京なよろ会として販売協力を行っています。味が良く、次第にリピーターが増えて、販売日がそれぞれ3日間なのですが、いずれも午前中に品薄になり、昼休み時間には完売となる状況が続いています。

東京なよろ会は年に1回の総会・懇親会を100名規模で開催しています。また、ふるさと名寄の近況を会員にお伝えする「東京なよろ会だより」、「広報なよろダイジェスト版」を年3回お届けしています。これらの基本的な活動を木原会長のもとに総勢20名の理事、2名の監事、2名の顧問が支えています。

東京なよろ会は年に1回の総会・懇親会を100名規模で開催しています。また、ふるさと名寄の近況を会員にお伝えする「東京なよろ会だより」、「広報なよろダイジェスト版」を年3回お届けしています。これらの基本的な活動を木原会長のもとに総勢20名の理事、2名の監事、2名の顧問が支えています。



個人出版・会報などの制作いたします。  
お気軽にご相談下さい。

### 株式会社 双文社

〒113-0033 東京都文京区本郷1-10-9  
電話：03-3815-0055 FAX：03-3815-0074  
HP：http://www.soubnsha.co.jp  
NPO法人日本自費出版ネットワーク